

FUJIFILM MEDICAL SEMINAR 2016

PREMIUM SEMINAR 2016

特別セミナー



演題

犬の原発性脳腫瘍： 基礎生物学から トランスレーショナルメディスンへ

講師



Peter J Dickinson
BVSc, PhD, DACVIM

日時

2016年**11**月**25**日(金)
17:00~21:00(予定)

参加費
無料

会場

日本獣医生命科学大学 B棟512会議室
東京都武蔵野市境南町1-7-1

※お申し込み方法は弊社担当へお問い合わせください。

犬の原発性脳腫瘍： 基礎生物学から トランスレーショナルメディスンへ

要旨：

犬の原発性脳腫瘍は、人の場合と同様の頻度で発生し、画像所見、組織病理および生物学的挙動などの特徴の多くが人体のものと酷似している。人の疾患、特に癌のモデルとしてのコンパニオン・アニマルの価値は広く認められており、NIH/NCI（米国立衛生研究所／国立癌研究所）はこの分野の研究を積極的に推進している。UC Davis（カリフォルニア大学デービス校）の神経科／脳神経外科は、犬の原発性脳腫瘍を研究する基礎科学・トランスレーショナル臨床試験プログラムや世界中の複数の人医神経腫瘍学グループとの共同研究を実施している。

このセミナーでは次の2つの主要分野を扱う：

- 1) 犬の脳腫瘍の分子のおよび遺伝子的理解の進歩、品種による素因についての知見、ならびに将来の繁殖計画および実臨床での診断と治療にこれがどのように影響を与え得るかの概説。また、人と犬の遺伝的特徴の差異を活用して重要な生物学的および臨床的疑問に答えられるようにする方策も紹介する。
- 2) 人と犬の両方の患者におけるトランスレーショナル治療開発のためのモデルとしての脳腫瘍の犬についての概説。UC Davisにおける完了済みおよび進行中の脳腫瘍臨床試験からのデータを使って、トランスレーショナルモデルとしての犬の強みと弱みを検討する。トランスレーショナル試験に不可欠な画像法と外科的処置の最近の進歩、および成功する見込みの高い共同研究や試験のデザインについての知見と経験についても考察する。

お問い合わせ先

富士フイルム メディカル株式会社 POCT部

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル

TEL : 03-6419-8035 (平日9:00~17:30)

E-mail : fms-immuno@fujifilm.com